

# 2022年度版 大栄建設株式会社 環境活動レポート

## はじめに

当社は昭和50年以来、土木、下水、舗装工事を主体として公共工事及び民間工事に携わって来ました。近年、環境に対する問題が社会的に注目され建設業においても環境への配慮が重要視されています。

建設業に携わる一員として全社員及び協力会社も含め環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んでいきます。

## 環境に関する経営理念・方針

### (経営理念)

地球温暖化対策を始めとする地球環境保全は、人類共通の重要事項であり、社会の一員である企業にとっても、最重要の経営課題です。

私たちは、企業活動のあらゆる分野で、全社員が地球環境との調和、環境の改善に配慮して行動するとともに、地球の方々とのパートナーシップを育み、持続的発展が可能な社会の実現に向けて取り組みます。

### (経営方針)

原材料の調達・販売・廃棄に至る全ての段階において環境に配慮します。

工事に必要な資源の調達に際しては、より環境負担の少ない部品、材料を選定し、優先的に調達します。各行政機関、市民団体、地球の方々とのパートナーシップにより社会・地球における環境保護活動に積極的に取り組みます。

## 事業所の概要

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| ① 事業所名    | 大栄建設株式会社          |
| ② 所在地     | 名古屋市名東区八前2丁目807番地 |
| ③ 事業の内容   | 建設業               |
| ④ 従業員数    | 7名                |
| ⑤ 担当者氏名   | 岡本 優              |
| ⑥ 環境責任者氏名 | 堀井 稔博             |

## 環境に配慮した取組の状況

### 1 目標と実績

(1) 目標 温室効果ガス排出量：前年度比3%削減

(2) 実績

温室効果ガス 排出量	基準年度 平成23年	24.3t-CO <sub>2</sub>
	昨年度 令和3年	20.3t-CO <sub>2</sub>
		<u>16.4%の削減</u>

### 2 具体的な取組内容

(1) 電気使用量の削減

- ・LED照明を導入
- ・不要照明のスイッチOFFの徹底
- ・お昼休み、休憩時のエアコン電源OFFの徹底

(2) ガス使用量の削減

- ・給湯器の温度設定の見直し

(3) ガソリン使用量の削減

- ・車両の冬季の暖気運転中止、アイドリングストップの遵守

### 3 取組によるエネルギー使用量の削減率

	基準年度（平成23年）	昨年度（令和3年）	削減率
ガス	616 Nm <sup>3</sup>	427 Nm <sup>3</sup>	30%
ガソリン	4,983 L	3,328 L	33%

### 4 取組の改善策

電気使用量の削減 長期離席時 PC 電源 OFF

ガソリン使用量の削減 外出先ルートの効率化

### 5 新たな目標の設定

① 次世代自動車の導入

次世代自動車の保有台数を増やし化石燃料の消費を抑える

② その他エネルギー対策

空調の室外機を定期的に掃除し、省エネルギーに努める。